

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面抗原陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	American Society of Hepatology 46th Annual Meeting 2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005; 88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											C型肝炎	臨床血液 2004; 45(8): 280 PS-1-247.	HCV-RNA検査陰性であった血液製剤の輸血によってHCV感染が疑われる症例が報告された。
											C型肝炎	Hepatology 2005;41(1):115-22	HCVの感染は肝疾患病棟、特に長期間の入院を要する患者において、患者から患者のルートで発生しているようである
											C型肝炎	J of Medical Virology 2005; 75(3): 399-401	英国において、麻酔の手順上、感染のおそれがない状況下で麻酔科医から患者にHCVが伝播した最初の報告である。このことから、輸血後HCV感染症の調査には、院内感染など輸血以外の伝播ルートについて考慮する必要がある
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004; 45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	Transfusion 2004;44 Supplement:16A-17A, S47-0301	感染性不活化技術の一つリボフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディプラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004 ;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											細菌感染	J of Clinical Microbiology 2004; 42(10): 4759-64	血小板製剤に混入した細菌の検出法として、23S rRNAとgroEL遺伝子を利用したreal-time RT PCRが開発された。その感度は、大腸菌125 CFU/mLを検出した
											細菌感染	日本輸血学会雑誌2004; 50(5): 726-9	敗血症性ショックとの関連が疑われた血小板製剤からM. morgani が検出され、輸血による細菌感染が示唆された。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The Independent Bangladesh) Independent, Bangladesh, 11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
											マラリア	ABC newsletter 2004年12月3日	米国疾病管理予防センターは、ドミニカ共和国のアルタグラシア州およびデュアルテ州を訪れた旅行者2名のマラリア感染報告を受け、旅行者に対する予防措置の勧告内容を拡大する。
											マラリア	CDC 2005年1月12日	国疾病対策予防センター(CDC)は、2004年12月26日に発生した大地震および津波の被災地域に居住する米国人に現在の健康上、安全上のリスクに関する情報を通知し、これらのリスクを最小限とするために講じる措置についてのガイダンスを提供する。
2005/4/25	50115	日本製薬株式会社	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分	有	無	無	HIV	Vox Sanguinis 2004;86:171-7	血液製剤のミニプール核酸増幅検査(MP-NAT)が導入されてから初めての輸血によるHIV感染事例。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EMEA/CHMP/BWP/CPMP/5136/03	vCJDのリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38)1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年10月22日	仏国で8例目のvCJD患者が報告された。仏国初の供血経験者であり、患者由来の原料が血漿分画製剤の製造に使用されていたが、血漿分画製剤による伝播の証拠はないと述べている。
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											B型肝炎	共同通信 2004年12月17日	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け、輸血によりHBVを伝播した。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion 2004;44(12):1695-9	ミニプールでの核酸検査を行ったにもかかわらず、輸血で西ナイルウイルスに感染した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61.	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR WEEKLY;14(39)	供血後にvCJD発症した人由来の製剤の投与を受けた人の一部については血液等の提供をしないようにする等の勧告。
2005/4/25	50116	日本製薬株式会社	乾燥HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	HIV	Vox Sanguinis 2004;86:171-7	血液製剤のミニプール核酸増幅検査(MP-NAT)が導入されてから初めての輸血によるHIV感染事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EMEA/CHMP/BWP/CPMP/5136/03	vCJDのリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38)1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年10月22日	仏国で8例目のvCJD患者が報告された。仏国初の供血経験者であり、患者由来の原料が血漿分画製剤の製造に使用されていたが、血漿分画製剤による伝播の証拠はないと述べている。
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											B型肝炎	共同通信 2004年12月17日	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け、輸血によりHBVを伝播した。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion 2004;44(12):1695-9	ミニプールでの核酸検査を行ったにもかかわらず、輸血で西ナイルウイルスに感染した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61.	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR WEEKLY;14(39)	供血後にvCJD発症した人由来の製剤の投与を受けた人の一部については血液等の提供をしないようにする等の勧告。
2005/4/25	50117	日本製薬株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	現在は製造していない	有効成分	無	無	無			
2005/4/25	50118	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	デオキシリボヌクレアーゼ I	ウシ臍臓	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/25	50119	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	リボヌクレアーゼA	ウシ臍臓	アメリカ、カナダ、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/25	50120	日本メジック株式会社	診断薬	人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/25	50121	富士製薬工業株式会社	胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	妊婦の尿抽出物	中国、ブラジル	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE IRISH TIMES (2004年11月10日)	アイルランド共和国において、英国滞在歴のないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことはないし、供血したこともない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。アイルランドで初めてvCJD症例が確認された
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	国内における変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発生について
											トリパノソーマ症	Weekly Epidemiological records No7(2005/02/18)	T. Evansに起因するトリパノソーマ症のヒト症例が世界で初めて確認された
2005/4/27	50122	セローノ・ジャパン株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	C127細胞株	マウス細胞	スイス	製造工程	無	無	有			
2005/4/27	50123	セローノ・ジャパン株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ソマトロピン(遺伝子組換え)	C127細胞株	スイス	有効成分	無	無	有			
2005/4/27	50124	セローノ・ジャパン株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	英国、米国、カナダ、デンマーク	製造工程	無	無	有			
2005/4/27	50125	セローノ・ジャパン株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	乳糖	ウシ	英国及びポルトガルを除く	添加物	有	無	無	ウシ臍ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年10月1日号 Vol.17 No.40	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 6報告終了日-2004年9月21日 新規アウトブレイク-Texas州などの合計32農場 新規アウトブレイクの動物総数-ウシにおいて 疑い例396例、症例13例
											ウシ臍ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年11月12日号 Vol.17 No.46	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 7報告終了日-2004年10月26日 新規アウトブレイク-Colorado州Adams群などにおける合計53農場(ニューメキシコまたはテキサス州において2004年9月22日~2004年10月26日に新たな症例は確認されていない)新規アウトブレイクの動物総数-ウシにおいて疑い例792例、症例10例

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年11月26日号 Vol.17 No.48	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 8報告終了日-2004年11月16日 新規アウトブレイク-コロラド州、ニューメキシコ州における計33件2004年9月22日~2004年11月26日にテキサス州における症例は検出されていない。新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例1176例、症例12例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey 病原/感染源-不明拡大様式-不明
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年12月10日号 Vol.17 No50	米国における水疱性口内炎Follow-up report no9今回報告終了日-2004年11月30日新規アウトブレイク-NewMexico州における1件、Colorado州における2件。新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例15例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey 病原
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2005年1月7日号 Vol.18 No.1	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 10報告終了日-2005年1月6日 新規アウトブレイク-コロラド州における1件 新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例250例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey
											炭疽	ProMed20041001-0020 (Dr Antonio)	イタリア南部のバシリカータ州で過去2年間に多数の炭疽流行が発生し、乳牛、ウマ、野生のシカが罹患した。
											炭疽	ProMed20041105-0060(OIE)	フィンランドでの炭疽。動物の異常の初検知日:2004年10月5日。事例発生地:フィンランド南部。流行中の動物個体数:ウシ39頭。症例数/死亡症例数:2頭。感染源:汚染された飼料。感染対策:隔離および国内での移動管理。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたんぱく質が見つかったという報告である。
											BSE	厚生労働省ホームページ H17年3月23日	牛海綿状脳症(BSE)の検査結果について牛海綿状脳症(BSE)のスクリーニング検査結果の週報が更新されています(平成17年3月13日-3月19日搬入分)。陽性の牛:1件、検査中の牛:0件であることなど記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	厚生労働省ホームページ H17年3月27日	“牛海綿状脳症(BSE)確定診断の結果について平成17年3月27日に「牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議」委員による検討の結果、牛(平成17年3月24日処理;雄;ホルスタイン;108ヵ月令;飼育地は北海道天塩町)がBSEであるとの結論を得たことについて。
											BSE	ProMed20041231-0020(Canadian Press)	カナダ食品検査局は、BSE疑い症例が検知されたと発表。食品検査局では、予備的な検査結果は、12月29日に判明したとし、検査は問題の個体が歩行困難と確認されたのを受けて実施されたと加えた。今回の検査結果は最終的ではなく、同局は、複数のスクリーニング検査で陽性反応が得られたが、陽性となった個体の組織は、ヒトの食糧や家畜の肥料としては使用されていないとしている。
											BSE	ProMed20050103-0020(カナダ食品検査局)	疑い動物でBSE感染の診断確定、調査が進行中。カナダ食品検査局(CFIA)は本日[2004年1月2日]、アルバータ州の高齢の乳牛が検査で牛海綿状脳症(BSE)陽性となったことを確認した。感染が確認された個体は、1997年の飼料規制導入以前の1996年に誕生した。このウシは、飼料規制以前に汚染された飼料から感染したと考えられている。BSE確定症例のいかなる部分も、ヒトおよび動物飼料の食物連鎖環に入っていない。この発見は、食品安全上の危険性増加にはあたらない。
											BSE	ProMed20050109-0020(OIE)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20050112-0020(CFIA)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20050126-0070(OIE)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20041119-0010 (Associated Press)	新たなBSE疑い例。農務省当局は11月18日、米国で2例目となるBSE症例が確認される可能性がでたと発表。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											結核	ProMed20050208-0070 (ネブラスカ州農業局)	最近ネブラスカ州で発見された牛結核(TB)症例(屠殺時陽性確認)の調査に積極的な取り組み。
2005/4/27	50126	セローノ・ジャパン株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	人尿	中国	有効成分	有	無	無	デング熱	ProMed20041102-0010(China Economic Information Service)	中国東部の省で発生しデング熱流行は制圧された。
											デング熱	ProMed20041119-0050(新華通信)	今月(2004年11月)51歳女性がデング熱に罹患したことが発見され、今年(2004年)マカオにおける2例目のデング熱患者となった。
											デング熱	ProMed20050118-0030 (香港衛生署)	香港衛生署の健康保護センター(CHP)は、デング熱輸入患者1名を確認し、市民に対しデング熱について注意を喚起した。
											髄膜炎感染	ProMed20050202-0010(厚生労働省検疫所海外感染症情報2005年2月2日)	中国安徽省当局副責任者は2005年1月29日に、髄膜炎菌性髄膜炎の深刻な流行が省内の少なくとも5郡/市(Wuhu, Chuzhou, Anqing, Chaohu, およびHefei)で発生していると発表した。この感染症は、省内の別の地区にも拡大しているようである。
											髄膜炎感染	ProMed20041113-0060(厚生労働省検疫所海外感染症情報2004年11月13日)	中国安徽省髄膜炎菌性疾患について。2005年1月31日中国保健省(MOH)報告によると、髄膜炎菌性疾患の流行が中国東部安徽省の11都市で発生している。2004年12月20日から2005年1月30日にかけて死亡患者6名を含む62名の患者が報告されている。患者の大部分は髄膜炎菌 Neisseria meningitidis血清型C型により発生している。主に年齢13歳から18歳の学童が感染していることが報告されている。MOHは流行に対応して、全地域保健局に対して監視の強化と、ワクチン予防接種や患者との密接な接触者に対する予防的抗生物質投与などの予防感染制御対策の強化を指示した。MOHによれば中国における前回の髄膜炎菌性疾患流行は血清型A型により発生した。1984年以降政府は小児に対して血清型A型に対するワクチンを供給している。現在血清型A型とC型に対する予防効果のある2価ポリサッカライドワクチンが供給されている。
											呼吸器疾患	ProMed20041113-0060 (厚生労働省検疫所感染症情報 2004年11月13日)	香港医療センターでの小児における呼吸器感染症流行。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											呼吸器疾患	ProMed20041116-0010(厚生労働省検疫所感染症情報2004年11月16日)	香港ケアセンターでの原因不明の感染症流行で、新たに2名が感染。Caritas医療センターの小児で発生している原因不明の感染症流行の病原体は、まだ同定されていないものの、新型のものではない可能性が高いと保健当局責任者York Chow氏が述べた。SARSではないと確認した。
											呼吸器疾患	ProMed20041118-0030(厚生労働省検疫所感染症情報2004年11月18日)	香港ケアセンターでの原因不明の感染症流行で、新たに2名が感染。Caritas医療センターの小児で発生している原因不明の感染症流行の病原体は、まだ同定されていないものの、新型のものではない可能性が高いと保健当局責任者York Chow氏が述べた。SARSではないと確認した。
											ブルセラ症	ProMed20041223-0010(厚生労働省検疫所海外感染症情報2004年12月23日)	中国保健省は、ブルセラ症制圧のため対策を強化。北京にある中国保健省は2004年12月17日に、中国が「深刻な：ブルセラ症流行に直面しており、同国が更なる感染拡大を抑制するため対策を強化していると発表した。保健省は同声明の中で、「中国政府は、2004年前半に、ブルセラ症患者5,753名を記録したが、これは2003年の年間の患者数に近似している。
											ブルセラ症	ProMed20041225-0010(厚生労働省検疫所海外感染症情報2004年12月25日掲載)	2004年10月下旬に中国保健保護局ではブルセラ症患者を検査により確定していた。
											ペスト	ProMed20041102-0020(厚生労働省検疫所感染症情報 2004年11月2日)	死亡患者を出した青海省でのペスト流行は制圧された。農村部の住民8名が死亡した中国北西部でのペスト流行は、制圧されたと報告されている。患者の大部分が、野生のマーモットを殺傷したり、食べてペストに罹患した農夫や牧夫であった。しかし、Nangqen郡で発生した数例の原因は調査中である。
											レプトスピラ症	ProMed20040929-0080(News-Medical.net)	2004年8月、香港で新たに2名のレプトスピラ症患者確認。
2005/4/27	50127	ZLBベーリング株式会社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分 製造工程	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/27	50128	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン加第X III因子	アンチトロンピン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オー ストリア	有	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する 総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HI VとHCV感染は減少しているが、新興感染症で あるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNV とcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/27	50129	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン加第X III因子	トロンピン末	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オー ストリア	有効 成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する 総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HI VとHCV感染は減少しているが、新興感染症で あるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNV とcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/27	50130	ZLBベーリン グ株式会社	人血液凝固第XIII因 子 フィブリノゲン加第X III因子	人血液凝固第XIII因 子	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オー ストリア	有効 成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する 総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HI VとHCV感染は減少しているが、新興感染症で あるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNV とcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/27	50131	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン加第X III因子	フィブリノゲン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オー ストリア	有効 成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する 総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HI VとHCV感染は減少しているが、新興感染症で あるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNV とcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/27	50132	ZLBベーリン グ株式会社	抗破傷風人免疫グロ ブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オー ストリア	有効 成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する 総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HI VとHCV感染は減少しているが、新興感染症で あるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNV とcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/28	50133	デンカ生研株 式会社	乾燥組織培養不活化 A型肝炎ワクチン	トリプシン	ブタの膵臓	製造中止	製造 工程	有	無	無	E型肝炎	ウイルス 2004;54(2) :243-8	豚、猪、鹿の膵臓からHEVが検出されており、E 型肝炎発生原因を考えられる。
2005/4/28	50134	デンカ生研株 式会社	乾燥組織培養不活化 A型肝炎ワクチン	GL37細胞	アフリカミドリザルの 腎細胞由来	製造中止	製造 工程	無	無	無			
2005/4/28	50135	デンカ生研株 式会社	乾燥組織培養不活化 A型肝炎ワクチン	RNase I	ウシの膵臓	製造中止	製造 工程	無	無	無			
2005/4/28	50136	デンカ生研株 式会社	乾燥組織培養不活化 A型肝炎ワクチン	RNase A	ウシの膵臓	製造中止	製造 工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/28	50137	デンカ生研株式会社	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	ウシ胎児血清	ウシ胎児の血清	製造中止	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50138	デンカ生研株式会社	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	ウシ血清	ウシの血液	製造中止	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50139	日本臓器製薬株式会社	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	培養ヒトリンパ芽球(JM細胞株)	ヒト(急性リンパ性白血病患者)末梢血	ドイツ	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50140	日本臓器製薬株式会社	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ヒト胎盤ホモジネート	ヒト胎盤	ドイツ	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50141	日本臓器製薬株式会社	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	培養ヒトリンパ芽球免疫ウサギ血清	ドイツ、ハンガリー	有効成分	無	無	無			
2005/4/28	50142	日本臓器製薬株式会社	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50143	日本臓器製薬株式会社	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ヒト赤血球	ヒト血液	ドイツ	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50144	日本臓器製薬株式会社	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ウシ乳児血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50145	日本ビーシージー製造株式会社	乾燥BCGワクチン 乾燥BCG膀胱内用(日本株) イムノブラダー膀胱用80mg	ウシの胆汁	ウシの胆	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	J of General Virology 2004;85:3159-63	BSE感染ウシの脳を経口摂取したヒツジから子羊が母子感染する頻度は、臨床的にBSE感染したヒツジが母子感染する頻度より低い結果となることが示唆された。しかし母子感染を完全に否定はできない。
												J of Compalative Pathology 2004;132/1,59-69	実験的にBSE感染させたヒツジでは、症状発現前の段階で採取した扁桃腺生検サンプルにPrP ^{sc} が検出される可能性を示唆した。
												The Lancet 2005;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クワイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。